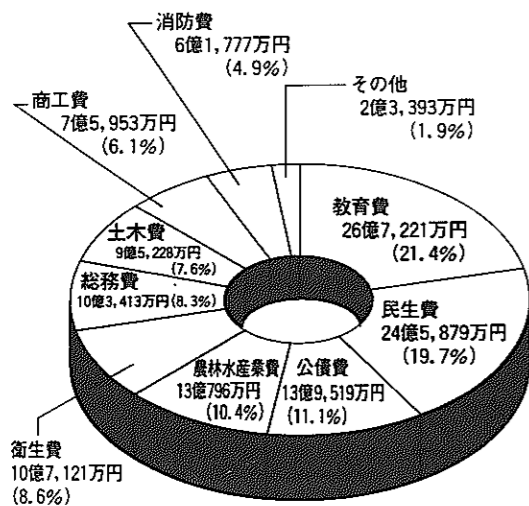
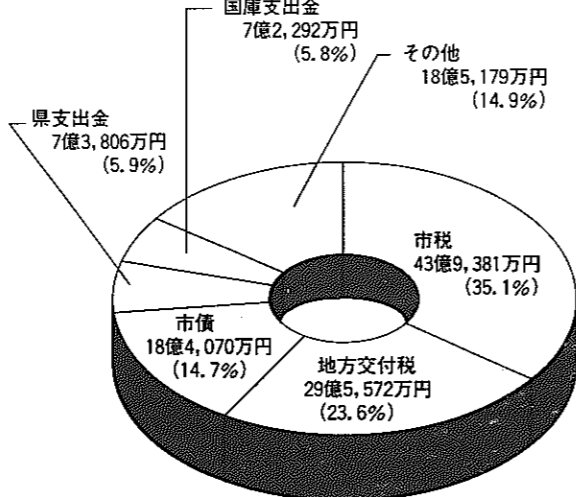


■ 歳出



■ 歳入



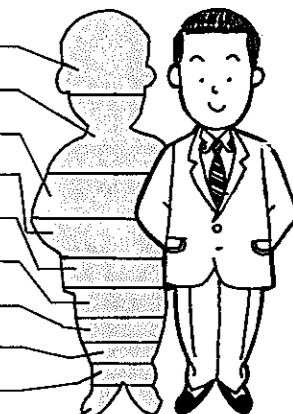
■ 前年度との比較

※各年度とも2月末現在の人口で計算

	9年度	8年度	増減
1人当たり総額	313,539円	297,912円	15,627円
教育費	67,011	57,552	9,459
民生費	61,659	56,001	5,658
公債費	34,987	32,714	2,273
農林水産業費	32,800	31,627	1,173
衛生費	26,863	23,206	3,657
総務費	25,933	26,736	△ 803
土木費	23,880	28,609	△ 4,729
商工費	19,047	19,358	△ 311
消防費	15,492	16,350	△ 858
その他	5,867	5,759	108

■ 内訳

教育費	67,011円(21.4%)
民生費	61,659円(19.7%)
公債費	34,987円(11.1%)
農林水産業費	32,800円(10.4%)
衛生費	26,863円(8.6%)
総務費	25,933円(8.3%)
土木費	23,880円(7.6%)
商工費	19,047円(6.1%)
消防費	15,492円(4.9%)
その他	5,867円(1.9%)



特別会計
新たに下水道
事業会計を設置

老人保健特別会計は、高齢人口の増加などから老人医療給付費が伸び、前年度比約一億九千六百万円(六・一パーセント)の増加、総額三十三億九千五百八十八万六千円です。

国民健康保健特別会計は、現段階では国の制度改正など不確定要素があり、骨格的な予算を編成。前年度比約二千六百万円(一・一パーセント)の減少で、総額二十四億六千五百五十三万一千円となっています。

また、新たに下水道事業特別会計

一般会計
教育費、民生費が
大きな伸び

上の図は一般会計予算を人口で割って、市民一人当たり、今年度どれくらいのお金が使われるかを表したもので、表はそれを前年度と比較したものです。ご覧のとおり、今年度は教育費と民生費が、一人当たりで六万円台に乗るなど伸びを見せています。

教育費が伸びた原因は、まず(仮称)生涯学習センターの建設です。用地取得と設計委託に約六億七百万円が計上されています。続いて北中学校の増築事業が約三億円。また同校や大通小学校の生徒数の増加で、老朽化した大鷲給食センターも増改

9年度の予算と施政方針
一般会計125億円でスタート

新年度の予算が決まりました。一般会計予算は百二十五億三百万円。前年度と比べ七億二千万円、六・一パーセントの増加です。

(仮称)生涯学習センター建設用地取得や北中学校の増築などで教育費が大きく伸びています。老人福祉事業にも重点が置かれ、民生費も増加しました。このほか新しく下水道事業の特別会計が組まれました。

築が予定され、この経費が約一億六千九百万円です。

民生費が伸びた主な原因は、老人福祉に掛かる経費の増加。今月、しなの園と加茂市の第二平成園が完成し、市内の入所人員が多くなり、この経費として約二億九千八百万円。しなの園に併設するデイサービスセンターの運営費として約六千六百万円。しなの園と白根保健生活協同組合が設置する老人保健施設みずき苑に、それぞれ併設の在宅介護支援センターの運営委託料として約二千三百万円が計上されています。

このほか生活保護対象の老人の長期入院や入院の増加に起因して、生活保護・医療費扶助が増加し、この対策に約五千八百万円が計上されています。また社会福祉法人親永会が新生町に建設予定の私立保育園

と、併設のデイサービスセンターの建設補助金として、約四千五百万円が計上されました。

一方、昨年と比べて減少が大きかったのは土木費です。国庫補助事業の交通安全施設整備事業は、今年度補助採択がなかったことから休工となり、この部分で前年度比二千九百万円の減。また市道の道路改良とそれに伴う用地買収の費用が約六千万円減額されています。このほか街路事業では一之町下江線の改良工事が完成し、七千八百万円の減少となりました。

次に歳入です。市税は全体で約四十三億九千四百万円で、前年度と比べて約一億九千九百万円(四・五パーセント)の伸びを見込んでいます。個人市民税については、特別減税

ガス・水道事業会計
計画的な維持管理、
安全面を強化

ガス事業は維持管理面を強化。引き続き、地震やガス漏れをキャッチする高性能マイコンメーターの設置や老朽管の入れ替えを行っています。

水道事業は、新基準の水質検査の実施や老朽化した石綿管の入れ替えを継続して行っています。

ガス事業会計予算

● ガス事業会計予算

事業収益	12億1,538万円
事業費用	11億5,300万円
資本的収入	500万円
資本的支出	3億2,910万円

● 水道事業会計予算

事業収益	11億0,039万円
事業費用	10億6,823万円
資本的収入	4億1,700万円
資本的支出	6億8,975万円

衛生センター組合
新規リサイクル
事業を推進

今年度も「人の命は一つ」を合い言葉に応急手当普及活動を積極的に推進していきます。平成七年度から延べ二百五十人が受講してきた救命講習は、毎月の開催を計画。現場に居合わせた人の救命技術の向上を図ります。

このほか職員養成にも力を入れ、県消防航空隊へ一名が二年間派遣されます。

予算総額は、九億六千二百二十八万円。前年度比一四・二パーセントの増加です。

今年度の主な事業としては、施設への進入道路の整備工事として、約一千二百九十万円を計上しました。これは衛生センター敷地のわきを通る県広域農道の工事に合わせて、東側からの乗り入れを可能にするものです。

消防事務組合
応急手当普及
活動を推進

一般会計予算は八億九千八百八十万円。新しい消防庁舎の建設事業が終

ごみの収集体制では、今月から牛乳パックを古紙に含めて回収することとし、管内全域で実施しています。ペットボトルの回収も、市内国道東側で試験的に始めます。

このほか、火葬場使用の受付時間を二十四時間体制に拡大しました。